

みどりの杜俳句会



枝張りのトマト連なり熟るるかな 梅沢喜久江

山百合の蕾今年も増えており 西 ツル

芋の葉に雨の水晶玉転ぶ 梅沢 時江

西瓜熟れマツト敷きあり山の畑 鈴木 啓子

梅樽に赤紫蘇加へ樽染まる 田村 好子

陽炎に眩みて夕日なほ強し 吉田 愛子

日に向ひマリーゴールド盛りかな 有賀袈裟江

緑陰や旅ミステリー読み憩う 柴崎 カヨ

短冊に願い書き合ひ星祭り 初雁 功子

朝暑し木陰に避ける松の鉢 小宮 勉

炎天や大水車より飛沫散る 山田 美子



人権シリーズ

【SNSと人権】

(428)

皆さんは、インスタグラム・X・フェイスブックなどのSNSを利用していますか。

近年では老若男女問わずスマートフォンが広く普及し、新たなコミュニケーションツールとしていくつものSNSが生み出されました。それにより、どこに住んでいても、スマホひとつあれば即座に世界中の人々と情報交換できるようになりました。SNSの多くは本名を明かさずに利用できる気軽さも魅力とされています。SNSを介してつながるバーチャル（仮想的）な人間関係が、人によつてはリアルな人間関係よりも重みを持つこともあるそうです。

しかし、その便利さの反面として、些細なきっかけで特定の人に多数の誹謗や中傷、ひいては脅迫が集中してしまうこともあり、痛ましい事件を記憶されている方も多いと思います。

人は、スマホの画面越しだと、普段は言えないような攻撃的な言葉を書き込んでしまうことがあります。他人の意見に影響されて感情が極端に強くなる、一種の集団心理も作用するそうです。

SNS上の人権侵害は、利用者の誰もが加害者にも被害者にもなり得ます。法改正によりインターネット上の情報発信者の開示請求が可能になっており、加害者が責任を問われることもあります。

加害者のひとりにならないために、SNSで誰かに向けて書き込む時には、「この人が目の前にいて、その顔を見ながら同じことが言えるだろうか」と、一呼吸置いて自分に問いかけてみるとよいのではないかと思います。

産業観光課 今井 智洋



「光と影」
撮影者 写友会
大久根 宏さん（安戸）

アートの世界

この写真は、北アルプスにある唐松岳を撮影したものです。

3月頃には、雲の少ない青空のもと、一面に広がる雪景色が美しく広がります。

まだ雪が溶けきらないこの時期には、スキーヤーたちがスキーを楽しむ姿と雪肌に残るスキー板の跡を見ることが出来ます。